



2月の園だより

令和6年2月1日
目黒区立中央町保育園園長

寒い日が続いていますが暦の上では立春を迎え、咲き始めた梅の花を見ると春の足音を感じます。

5歳児クラスの子どもたちは就学まであと2か月となりました。先日は、小学校で一緒になる近隣の中町保育園、夢花保育園、かえで保育園、しいのき保育園、にしじろ保育園の5歳児が3日間に分かれて中央町保育園に来園し、園庭で遊んだり、ドッジボール大会をしたりして交流しました。自己紹介では自分の名前と行く予定の学校名を言い、他園の子どもたちの紹介を聞きながら「同じ小学校だ」「あの子見たことある」と皆、興味津々です。ドッジボール大会は初日に交流した私立園に全勝したものの2日目に交流した中町保育園に全敗し、子どもたちの表情には悔しさが滲み出ていました。その日のうちに担任が子どもたちに感想を聞くと「くやしい」「こんどはぜったいに勝ちたい」という熱い想いが聞かれ、3日目の私立園とのドッジボール大会にむけて作戦会議が始まりました。家で小学生の兄姉に、勝つためのコツを聞いてきた子どももいたようです。そして私立園とのドッジボール大会当日、「ボールを取ったらすぐに投げる」「相手チームに背中を向けない」という作戦が見事に成功し全勝。子どもたちは大喜びで、観戦していた3歳児もニコニコしながら拍手を送っていました。

地域の子ども同士が顔見知りとなり、就学への期待とより楽しい小学校生活へと繋げることをねらいとして行った近隣保育園との交流でしたが、ドッジボール大会を通して様々な思いを味わいながら子どもたちが力を合わせて勝利し、クラスの仲間関係がさらに深まる機会となりました。卒園まで短い期間ですが、今後も地域交流を行い、地域との繋がり子ども同士の関係を深めていきたいと思えます。

<今月の予定>

◎クラス懇談会があります◎

0歳児クラス懇談会

節分

2歳児クラス懇談会

中旬

身体測定・避難訓練

3歳児クラス懇談会



★乳児お楽しみ会★

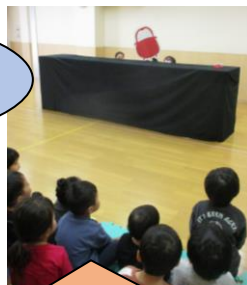
今年は4年ぶりにホールにて、0、1、2歳児クラスが集まって乳児お楽しみ会をしました。

保育士の人形劇を見たり歌を歌ったりして過ごしました。「おもちゃのチャチャチャ」の歌ではどんぐり組の子どもたちが前に出て手作りのマラカスを振って歌い、つくし組、たけのこ組も一緒に歌ったり、体を揺らしたりして楽しみました。

保育士が演奏するのをじっと見つめ、「きらきら星」を皆で一緒に歌いました。



大きな「だるまさん」が登場！



人形劇「てぶくろ」動物が次々出てくると「あ、うさぎ」「おかみだ」と指差ししていました。



最後に「てぶくろ」の人形劇の動物たちがお見送りしてくれました。「バイバーイ」「タッチ！」



給食も「だるまさん」の特別メニューでした





お店屋さんごっこ

今年はいちよう組（4歳）とぼぶら組（5歳）が一緒になり、4つに分かれてお店を出しました。もみじ（3歳）はクラスで1つのお店を出しました。準備の様子や当日の様子を紹介します。

「ゲーム屋さん」

ゲーム屋では、話し合いでクレーンゲームに決めました。しかし、景品を決める段階で希望の物はたくさん出てきていますが、実際にどのように作るかが決まらず作業が進みませんでした。景品づくりに行き詰っていたので、クレーンをどう作るのかということと話してみると「箱で枠を作る」「ガムテープをひもに貼ってくっつけて釣る」など、個々にイメージをしていることはよくわかりました。子どもたちのイメージを保育士がまとめて提案し、クレーン自体を子どもたちが行うことになりました。

練習を重ね、本番を迎えるとお客さんが動かすレバーの動きを見ながら

クレーン役の子どもはロボットのようにカタコト動いて演じていました。

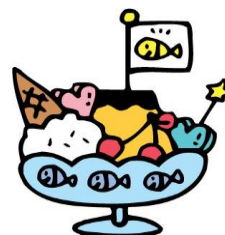
当日は「いらっしやいませ。今ならすぐできますよ」「レバーを動かして商品が決まったらボタンを押してください」と呼び込みや説明をし、お客さんに話しかけており、大勢のお客さんに楽しんでもらいました。



「お子様ランチ屋さん」

お店屋さん会議ではぼぶら組が中心となり「どうやって決めようか」「何が必要かな」と話し合っていました。また、いちよう組には「何がいいと思う？」と意見を聞きながら、一緒にお店を作ってきました。お店屋さんの名前を決め、商品はお子様ランチとジュース、お土産のドーナツを作ることに決めました。他にもいつも使っているクラスのままごとにあるおにぎりなども使って準備しました。商品を作り始めた際にも「わからなかったら教えるよ」「おいしそうにできてる」と相手が嬉しくなる言葉でのやりとりもあり、同じイメージの中でお店作りを楽しんでいました。

そして、当日はたくさんのお客さんに大忙しの時間もありましたが「誰かレジお願い」「ジュースがあと3つ足りないよ」など声を掛け合って協力していました。小さい子にも優しく声をかけて席へ案内して「何にしますか？」と注文を聞き、調理場で準備をして席に運んでいました。閉店後には「大変だったけど楽しかったね」と言い合う姿からは達成感があふれていました。



「もみじパン」（もみじ組・3歳児クラス）

初めて子どもたちにお店屋さんのお話をすると、ぱっと嬉しそうな表情になり「ドーナツ」「お花屋さんがいい」など皆が自分の意見を言ってくれました。そして、皆で『もみじパン』と店名を決めました。茶封筒に古紙を詰めたパンを作り、色を塗ってメロンパン、色紙を貼ってホットドックとおいしそうなおパンができていきます。「ハンバーガーも作りたい」「フルーツのパンがいい」と次々に作りたい物を形にして楽しんでいました。開店を楽しみにしながら作ったパンは120個以上になりました。

いよいよお店が開店すると、パン屋の帽子とエプロンを身に着けた店員さん達は自分で考えた言葉で「おすすめはこちらです」「ジュースもありますよ」とお勧めしたり、お客さんがいない時には「もみじパン買いに来てくださーい」と元気に呼び込みをしたり、とても張り切ってお店を切り盛りしていました。